国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和３年４月２７日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

国道３号植木バイパス（熊本西環状道路～国道３号）と熊本北バイパス（国道３号～須屋高架橋交差点）が令和４年度に開通します。

〇国道３号植木バイパス、熊本北バイパスは、熊本都市圏の環状道路網の一部となり、熊本市の交通混雑の緩和及び交通安全性の向上等を目的とした道路です。

〇この度、植木バイパス（熊本西環状道路～国道３号 延長0.9km）及び熊本北バイパス（国道３号～須屋高架橋交差点 延長1.8km）の区間において、主要な構造物である下硯川橋（仮称）の下部工事が完了し、残る工事工程を精査した結果、令和４年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせ致します。

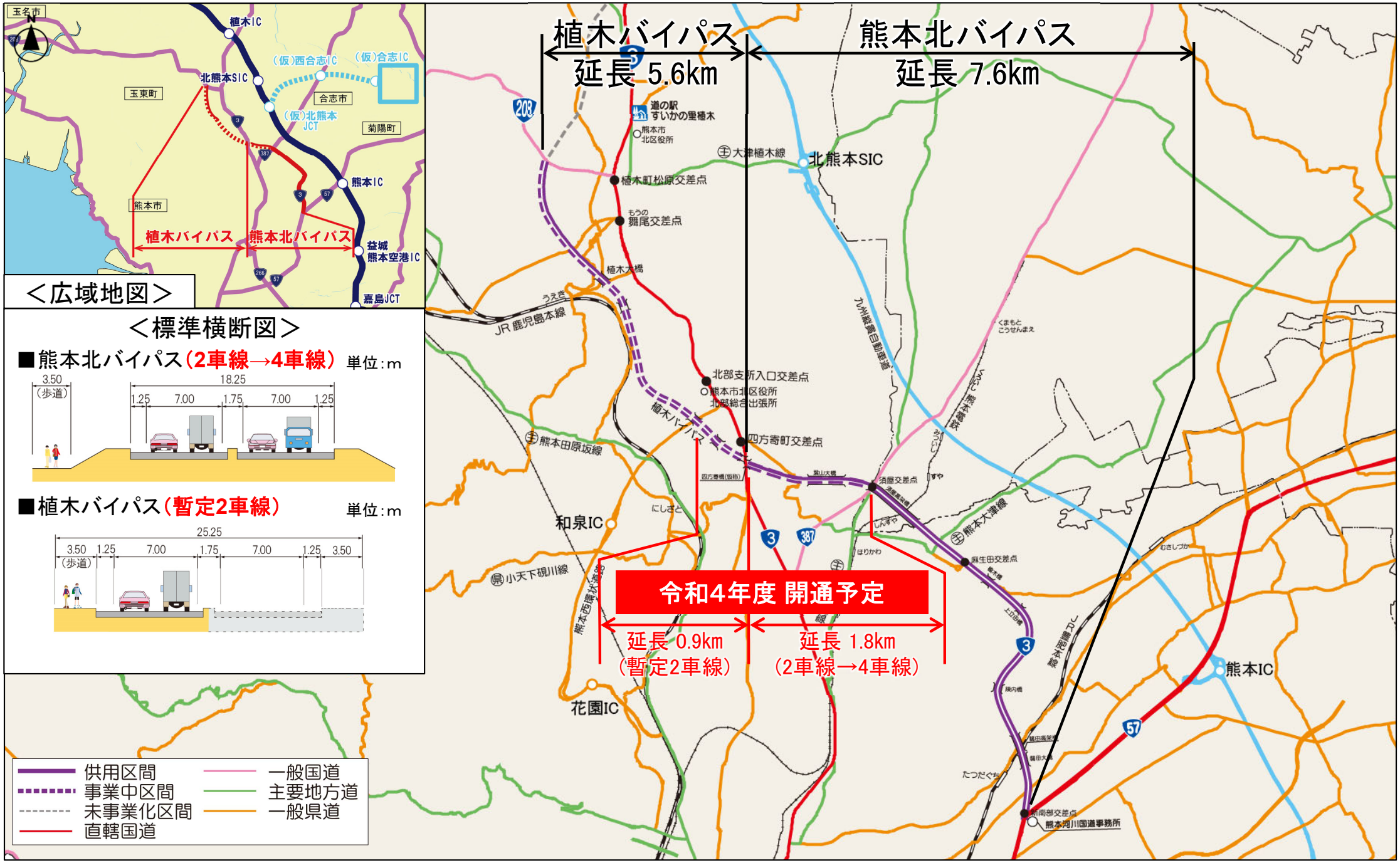
〇引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

〇開通により期待される主な効果
- 地域間の交流・連携を支援する広域交通ネットワークを形成
- 旅行速度向上による交通混雑の緩和
- 第三次救急医療施設等への救急搬送時間を短縮

問い合わせ先：
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所（TEL：096-382-1111（代表））
技術副所長　永田 哲也（内線205）
工務第三課長　二口 卓史（内線411）
調査第二課長　藤木 厚志（内線451）
E-mail：qsr-kumamoto-kouhou@mlit.go.jp　URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/

国道３号　熊本北バイパス・植木バイパス　位置図

＜位置図＞



整備効果① 地域間の交流・連携を支援する広域交通ネットワークを形成

広域ネットワーク形成

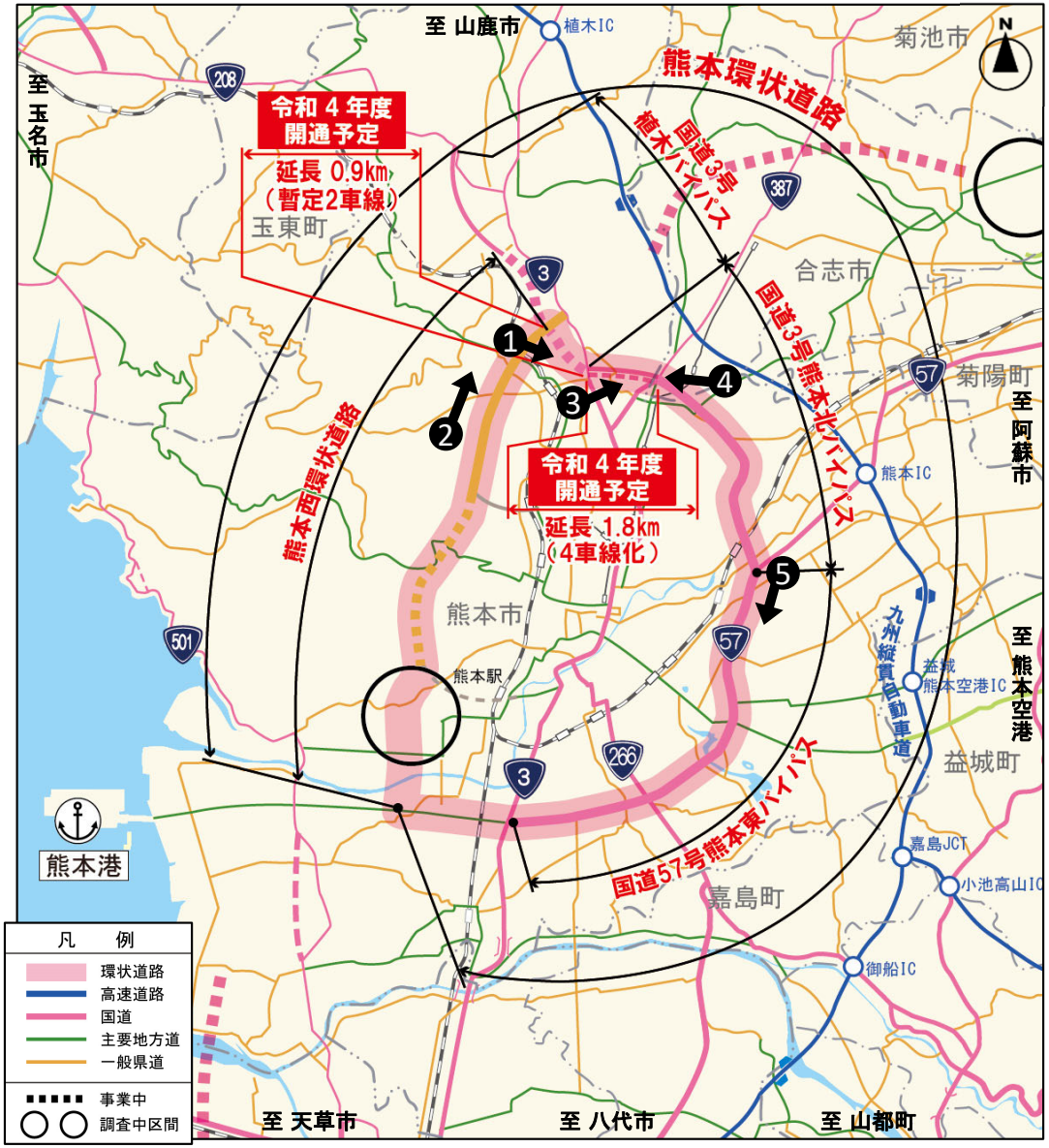
■熊本北バイパス及び植木バイパスは、熊本都市圏内の環状道路網の一部を形成し、交通混雑を緩和するとともに熊本市及び沿線地域間の交流・連携機能による広域交通ネットワークを形成。

写真①

▲ 植木バイパス(施工中)

写真②

▲ 熊本西環状道路(暫定2車線供用中)



写真③

▲ 熊本北バイパス(施工中，暫定2車線供用中)

写真④

▲ 熊本北バイパス(施工中，暫定2車線供用中)

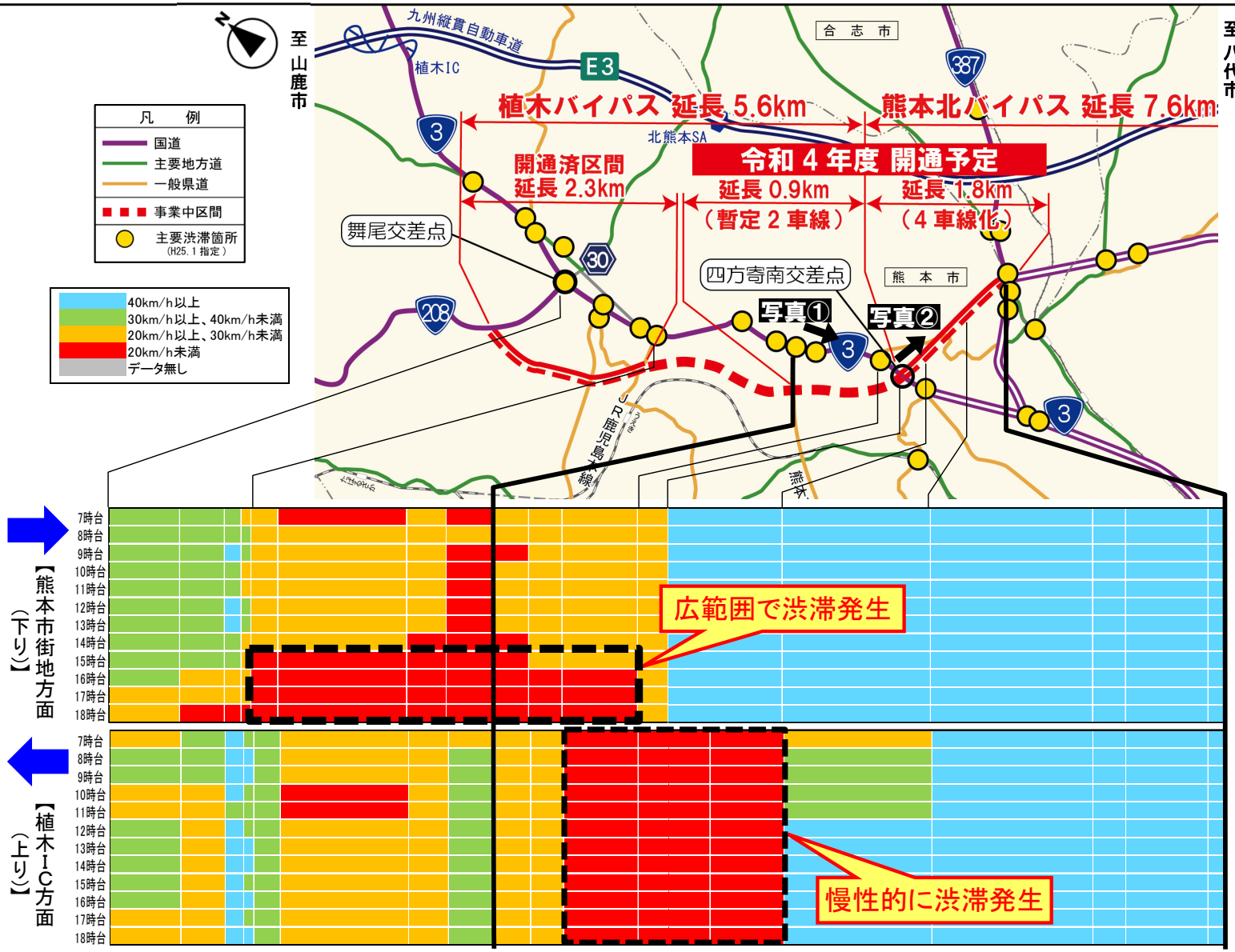
写真⑤

▲熊本東バイパス(6車線供用中)

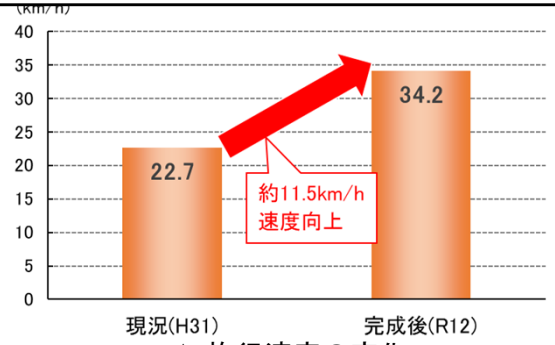
整備効果② 旅行速度向上による交通混雑の緩和

交通混雑の緩和

■熊本市街地方面(下り)では夕方ピーク時に、植木IC方面(上り)では慢性的な渋滞による速度低下が発生している。
■当該区間の開通により、交通混雑が緩和することにより、旅行速度が向上し、円滑な交通の確保が期待される。



▲ 国道3号現道と熊本北バイパス事業中区間の旅行速度(平日)



▲ 旅行速度の変化

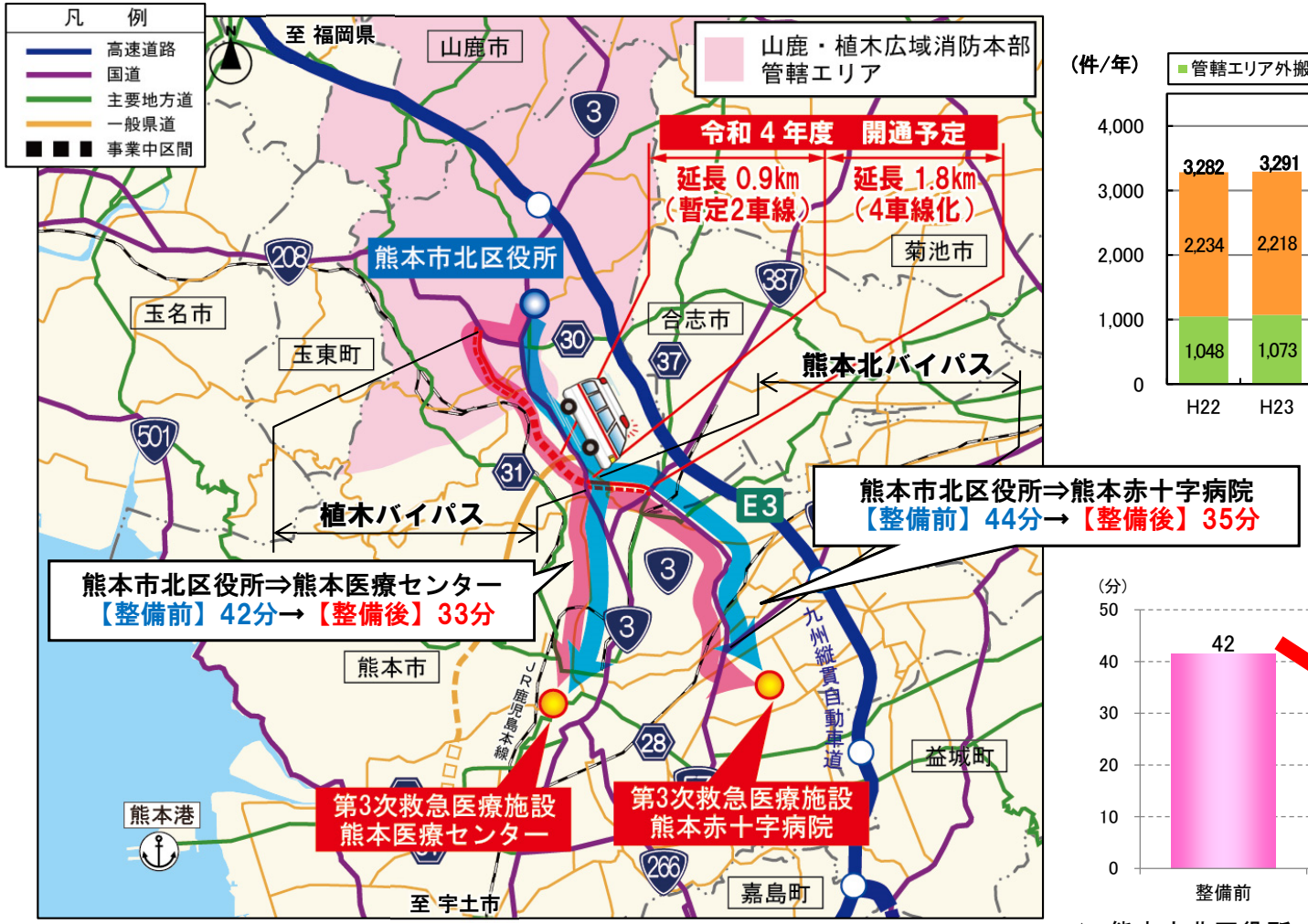
※旅行速度対象区間：国道3号植木バイパス並行現道・熊本北バイパス事業中区間
資料：H31(ETC2.0プローブデータH31.4～R2.3:平日混雑時)
R12(将来交通量推計結果)

▲ 植木バイパス並行現道の渋滞状況

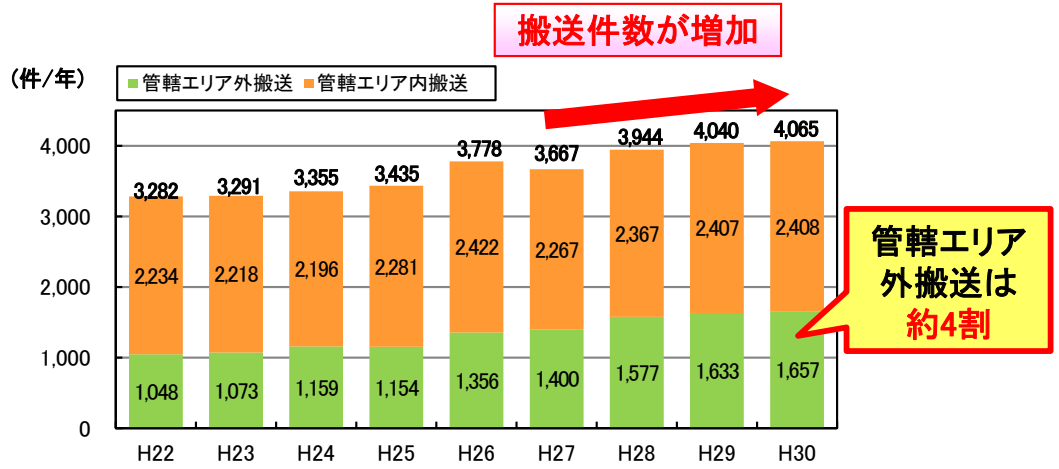
▲ 熊本北バイパス事業中区間の渋滞状況

整備効果③　第三次救急医療施設等への救急搬送時間を短縮　救急活動の支援

■山鹿・植木広域消防本部管内では、全搬送件数の約４割が熊本市内の医療施設への管轄エリア外搬送であり、近年増加傾向である。
■当該区間の開通により、高次救急医療施設までの所要時間短縮が図られ、救命率向上など住民の安全・安心の確保が期待される。

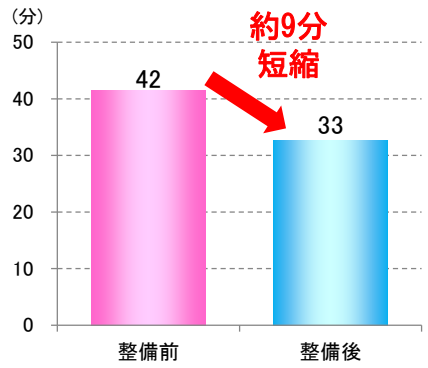


▲ 救急搬送ルート

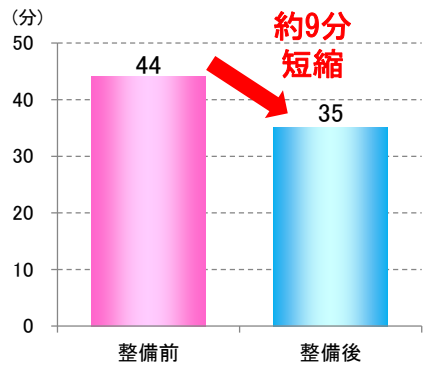


▲ 救急搬送件数の推移

資料：山鹿市消防本部資料、熊本市消防局資料



▲ 熊本市北区役所～熊本医療センターの所要時間の比較



▲ 熊本市北区役所～熊本赤十字病院の所要時間の比較

※ETC2.0プローブデータ（H31.4～R2.3:平日混雑時）
整備後は植木バイパスを速度50km/h、熊本北バイパス事業中区間を速度60km/hで計算